

ないすな

【めざす子どもの姿】

いきいき 学び合う
のびのび 認め合う
力いっぱい 鍛え合う



学習発表会

学習発表会を開催しました。多くの保護者の方やご家族・地域の皆様にお越しいただき、児童の発表に大きな拍手（声援）を送っていただきました。各学級とも、日頃の学習の内容を題材に、シナリオをつくり、劇やダンス・歌で発表しました。日頃の学習の成果と、一つのものを創り上げる取組の二つの意味で、「学習発表」ができました。

お忙しい中、お越しいただいた皆様、ありがとうございました。

児童の「振り返り」の感想文から

テキスト・マイニング（※）で集約。文中で、重要度の高い語句を中央・大きく表示



廊下に写真を掲示。児童たちが食い入るように見えています。

鍵盤ハーモニカ

あきらめる 頑張る 九九ダンス 発表会
ドキドキ 来年 友だち 本番 笑顔 出す お母さん
信じる 150点 技 移動 リズム 態度 大きい
寂しい うれしい くれる 良い 合奏 出せる ブリッジ 弾ける
見える 一生懸命 リハーサル 家族

3・4年生 恥ずかしさや緊張感を実感しだす中学年。それを乗り越え、助け合って声や間合い、振り付けをそろえて、大きな声でできました。5・6年生のすごさを感じ、来年はもっと頑張りたいと考えているようです。

3年「サーカスのライオン」

4年「私たちにできること」（環境学習から）

1・2年生 「鍵盤ハーモニカ」の演奏が、入りも含め一生懸命取り組んだ分、「できた!!」や「頑張った」に一番つながっているようです。あきらめたり、間違いもあったけど、緊張を乗り越えドキドキしながら頑張りました。

1年「サラダで元気」

2年「にま町のすてきをしようかいしよう」

6年生 そろえる
緊張 5年生
恥ずかしい 緊張 5年生
リハーサル 声 転回 助け合う
言える 換気扇 できる くる 間違える
上手 頑張り 動き 1年 笑う
発表 付ける 少ない

5・6年生 仁摩小のリーダー、5・6年生。練習を重ね、「できる」自分を見つけたようです。聞こえやすくセリフを言うなど、観客の視点も取り入れ頑張りました。緊張感もあったようですが、思いを込めて取り組んで大成功です。

5年「注文の多い料理店 三瓶支店」

6年「ぼくらの歴史教室」

ひばり学級 4人の児童が息をあわせて、活動の紹介をしました。

※UserLocal テキストマイニングで分析



5・6年生の「銀山学習」 実際に銀を運んでいた山道約9キロに挑みました。銀山センターから鞆ヶ浦まで、整備された所もありましたが、険しい難所も。各班に付いていただいたガイドの方のお話を聞いたり、事前に学習してもっていた課題について質問したりしながら踏破しました。児童は、銀鉱石を運びながらこの道を歩いた昔の人の苦勞に思いを馳せたり、石見銀山のことをもっと知りたくなったとの感想をもったりしました。

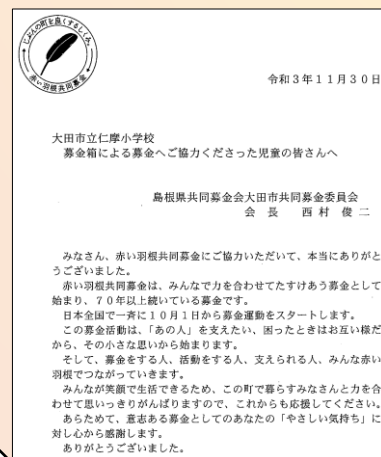
2年生の「餅つき体験」 大国まちづくりセンターで、地域の方々やセンターの職員の皆さんが、体験の場をつくってくださいました。また、多くの保護者の方にもご協力をいただきました。ありがとうございました。杵を持つ手はぎこちなかったですが、ていねいに餅をこね、いろいろな味でいただきました。競い合うようにお代わりをして、つくたての餅のおいしさを味わうことができました。



写真は一部解像度を落としています

募金活動

児童会総務委員会の子供たちが意気に感じ、赤い羽根共同募金活動の一環の活動に取り組みました。自分たちで全校に呼びかけ、家庭にも協力をお願いする便りを出しました。多くのご家庭・子どもたちが、気持ちを届けてくれました。社会福祉協議会に届けたところ、「たくさん募金をしてくれてありがとうございます」とお礼の手紙が届きました。



【校内寸描】



週に1度来校してくれるALTの先生を、親しみを込めて「エミリー」と呼んでいます。英語の学習や活動で、身振り・手振りも交えての指導をしてくれていて、児童も楽しく英語に親しんでいます。ハロウィンなどの行事も取り入れて、文化の紹介もしてくれています。日本語も堪能で、気さくな人柄もあり、校長の片言の英語もどき（日本語＋英単語の羅列）にも笑顔で応えてくれて、感謝しています。

【編集雑記】 12月になると「人権週間」の取組があちらこちらで聞こえてきます。本校でも全日本同和会島根県連合会長で、浜田市周布公民館元館長の山崎壽松さんをお招きして、4・5・6年生児童への人権講話を、職員に同和問題をはじめとする人権課題についての研修講師をお願いしました。

「自分を大切に、そして友だちも大切に」というテーマで子どもたちに話していただき、子どもたちは「あいさつを自分からすることも、友だちを大切にすることなんだ」「自分が言う言葉には気を付けていきたい」などの感想を持っていました。職員研修では人権感覚を磨く多くの言葉をいただきました。その中で「自分本位の心で見ているから、周りに気に入らぬことが多くなる」「家庭という庭は手入れが難しい、肥をやり芽を摘んでこそ美しい花が咲く」が私の心に響き、自身を顧みました。文責・校長 舟木志郎